



日本モルック協会
Japan Molkky Association

モルック届けるプロジェクト 報告書

作成者：日本モルック協会福祉部



全国への拡大

障害や年齢を問わず、誰でも楽しめる導入機会を提供。



魅力の発信

安全性のノウハウを伝え、福祉視点でのプレイヤー増を図る。



継続的な活用支援

寄贈のみで終わらせず、現場で使い続けられる体制を支援。

実施スケジュール

2024.10頃

OHSサプライ合同会社様よりモルックを提供頂き贈呈プロジェクト発足。

2025.04～07

公式HPにて4ヶ月の受付期間を設け公募を開始。

2025.10

贈呈（配布）終了。配布後はアンケートで感想や意見を収集。

応募総数

199 件

贈呈総数

177 件

※対象外：22件

対象外施設、同一事業所から複数の応募等のため

施設種別ごとの贈呈内訳

障害福祉サービス

75件

障害児通所・入所

51件

高齢者施設

7件

特別支援学校

13件

児童養護施設

1件

- 養護老人ホームゆうけいハートフル
- 放課後等デイサービス いろえんぴつ
- 就労継続支援A型事業者 はな・はな
- 放課後等デイサービス ふくふくくらぶ
- 放課後等デイサービスGifty
- 社会福祉法人 さくらの花工房
- まる田村日佐 田村のアトリエ
- 特別養護老人ホーム秀寿円園
- デイサービス 笑顔学園ステップペア
- デイサービス 笑顔学園 スポーツペア
- 児童発達支援事業所バンビーノペア
- 株式会社プライムステージ サクラビア成城
- NPO法人のびっこ寮育センター
- 就労継続支援B型チャレンジペア
- デイサービス げんきあっぷ・からふる
- 社会福祉法人修光学園 ワークセンターHalle!
- 運動療育施設ふくふく
- ぽこぽこ児童発達支援放課後等デイサービス
- ぷちぽこ児童発達支援放課後等デイサービス
- ぽこさん児童発達支援・放課後等デイサービス

- 介護医療院 茶山のさと
- 放課後等デイサービス そらひろあさひのいえ
- 放課後等デイサービスそらひろ風のいえ
- 浦和すずのきクリニック デイケア ひだまり
- 放課後等デイサービス Pスマイル
- リハビリフィットネスFull Life
- 介護老人保健施設光風
- 介護老人保健施設光風 通所リハビリ
- ハート介護サービス弥刀デイ
- 通所介護 白馬デイサービスセンター
- 児童発達支援放課後等デイサービスUMIEいなみ第二教室
- 自立訓練(生活訓練) ビューズ@名駅
- 放課後等デイサービス 笑顔学園
- 地域密着型特別養護老人ホーム妻の杜ひまわり
- 大倉山デイサービス
- 徳之島診療所 デイケアにじ
- デイサービス ソラスト摩耶
- 合同会社 自然と発達 サンシャインキッズ
- LITALICOワークス広島紙屋町
- デイサービス多賀の里

- 福島県立郡山支援学校
- 児童デイサービス あっぷつぶ
- 放課後等デイサービスarata
- うみのいえ
- 生活訓練/ライフサークル
- 就労継続B型事業所Cotori/合同会社キングコング
- 重症心身障害児(者)施設 サルビア
- 放課後等デイサービス シュシュココン
- 済生会ウエルネスリハデイサービスライヴリー
- ハーフアステップ
- Becoming(放課後等デイサービス)
- 放課後デイサービスいろえんぴつ山手
- 放課後等デイサービス ハッピーテラス岐阜梅林教室
- 就労継続支援 マルエイソーシャルサポート
- 加須市社会福祉協議会 あげぼの園
- デイサービス ハッピーテラス岐阜長森教室
- 障害者支援施設 希望の丘
- 横浜市立北綱島特別支援学校 サルビア分教室
- 福祉型ワークスクールzerostep
- Day i3 (デイ・アイスリー) 地域密着型通所介護

- 岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校
- 横浜市鶴見市場地域ケアプラザ
- 放課後等デイサービス めくもり山荘
- 南福祉ホームむつみ 生活介護
- 放課後等デイサービスあいえず・すだち 個別療育もあ
- NPO法人るんと たんぼぼ
- こども・生活ソーシャルサポートセンターBecoming
- 高齢者デイサービス めくもり山
- 有限会社 ホットステーション
- NPO法人クチェカ
- 児童発達支援センター たくあい
- アクティビティ「むう（夢）」
- 障がい者支援施設 箸蔵山荘
- 広島県立三原特別支援学校大崎分教室
- 地域活動支援センターぼれぼれ
- 放課後等デイサービス いろえんぴつ西明石
- 放課後等デイサービスいろえんぴつ魚住
- 就労移行支援事業所 カラーズ・ラボ広島
- 森町発達支援事業センター「あいあいクラブ」
- 社会福祉法人 父の樹会 おおぞら園
- 通所リハビリテーション ノテげんきのでる里
- 庭と森（就労継続支援B型）
- グインホーム
- ウェルビー広島駅前第3センター
- 北海道伊達高等養護学校
- 就労移行支援事業所/ウェルビー横川駅前センター
- 社会福祉法人つつじ ほほえみタウン坂
- 自立訓練事業所 ウェルビーチャレンジ烏丸御池センター
- 山形県立酒田特別支援学校
- 医療法人桂慈会菊池病院介護老人保健施設のみ
- 放課後等デイサービス そらひろハミング
- デイサービスいろはさくら館
- 舞鶴市身体障害者福祉センター
- 児童発達支援・放課後等デイサービスRePort東北桜教室
- 地域活動支援センターおやま
- 自立訓練ウェルビーチャレンジ新横浜センター
- 児童デイサービス にじいろ
- 共同生活援助 グリッツィーニ
- 就労移行支援 LITALCOワークス南海堺
- ITALICOワークス住道
- LITALICOワークス秋葉原（就労移行支援）
- ITALICOワークス横浜関内
- 就労移行支援事業所 リタリコワークス宮崎
- リタリコワークス高千穂通
- ITALICOワークス藤が丘
- 小規模多機能ひばり
- 就労移行支援事業所/LITALICOワークス松戸
- 就労移行支援事業所 LITALICOワークス四日市
- 就労移行支援事業所 LITALICOワークス武蔵浦和
- LITALICOワークス大宮
- 就労移行支援事業所 LITALICOワークス沖縄
- 就労移行支援/LITALICOワークス浜松市役所前
- LITALICOワークス大阪京橋
- ITALICOワークス 横浜都筑センター
- デイサービス トリトン
- 特定非営利活動法人なごみ
- 就労移行支援事業所LITALICOワークス香椎
- 就労移行支援事業所LITALICOワークス新橋
- 医療法人徳洲会 介護老人保健施設コスモス
- 地域活動支援センター ハートランド

- ITALICOワークス京成津田沼
- ITALICOワークス新さっぽろ第2
- 重症児デイサービスあべに〜る
- リタリコワークス川口
- デイサービスおひさま
- デイサービスセンター西日置フラワー園
- 介護老人保健施設 こまち
- 就労支援継続b型事業所 トリエステ
- ウェルビー株式会社 ウェルビーチャレンジ小倉センター
- 社会福祉法人ひまわり
- 社会福祉法人わらしべ舎 西多賀工房
- 飛騨特別支援学校 小学部
- 飛騨特別支援学校 中学部
- 飛騨特別支援学校 高等部
- 就労移行支援事業所 CHIMED横川
- 就労継続支援B型事業所Lookエキキタ
- 株式会社フレアス 看護小規模多機能厚木
- 放課後等デイサービス LEIF新座
- 灯光園デイサービスセンター
- 地域活動支援センターゆうがお
- 就労移行支援事業所ア・ドマーニ久喜
- 自立訓練(生活訓練)事業所 ウェルビーチャレンジ広島駅前センター
- こども発達サポートAnge(あんじゅ)
- HSA デイサービス めだかの学校
- 学校法人明晴学園
- 飯泉精神科病院デイケア
- デイサービス アプコル池田
- 小規模特別養護老人ホームのとかわ
- 明晴学園
- 就労移行支援事業所 LITALICOワークス新大阪
- 放課後等デイサービス ミリミリー
- 放課後等デイサービスBrillius まなびの家
- 福岡県立久留米聴覚特別支援学校
- 岐阜県立飛騨特別支援学校
- 能登川園デイサービスセンター
- ショートステイ くるみPlus
- 放課後等デイサービスわんぱくランド
- 放課後等デイサービスほっと・ハートひろばフルール
- 児童発達支援・放課後デイサービス ウィズ・ユーふくしま平
- 児童デイサービスにじいろ
- こどもリハビリセンター放課後等デイサービス
- 社会福祉法人 修光学園
- 就労継続支援B型作業所 LOOKヒカリマチ
- デイサービスセンター梅の里
- 放課後等デイサービス「キラ」
- 児童発達支援 リポート新座教室
- 障害者支援施設 ふれあいの里・どんぐり
- 社会福祉法人もえの会 作業所のどか
- 放課後等デイサービス ひとつ星・さかど
- 就労移行支援事業所 JSN新大阪
- 社会福祉法人まりも会
- 就労継続支援B型 シェーン海老名
- グループホーム ももたろう
- ひなた忠節店
- 放課後等デイサービス かるみあ
- 就労継続支援B型 ひなた
- 就労継続支援B型事業所 ライフスタイルきらら
- 相談支援事業所 葵
-
-

・動画でのレクチャー

福祉施設向けに特化したレクチャー動画を作成しました。動画には車イス使用時の対応方法や、障害程度に合わせたルールの工夫などを収録しています。

また、配付施設にはプレイ後の感想をアンケートで求め、現場の声を収集しました。

・現地での体験会

一部の施設ではありますが直接モルックをお届けして体験会を実施しました。

現地での直接的なルールの指導や体験を通じ、現場スタッフからは「分かりやすい」「わざわざありがとう！」といった感謝の声を多数いただきました。

👤 利用者の感想

- ・「力があまりいらず、運動神経がなくても楽しい」「汗をかきすぎない」など、手軽さが好評でした。
- ・「思い通りに当たると爽快」「駆け引きや作戦会議が面白い」と、高い競技性も楽しまれています。
- ・「頭を使う奥深さがある」「点数計算が面白い」と、やりながら面白さに気づく方が多く見られました。

🗨️ コミュニケーションへの効果

- ・グループで取り組むことで、利用者間の会話や交流が自然と増加しました。
- ・普段発話が少ない方も作戦会議で自発的に発言したり、初対面同士でも和気あいあいとした雰囲気が生まれました。
- ・「応援」や「採点」など、様々な役割を通じてコミュニケーションの実践機会となっています。

📌 身体機能・療育への効果

- ・体力や経験の差が出にくいいため、車椅子の方や高齢者でも「当てられる」成功体験を得やすいツールです。
- ・TVゲームのような操作の複雑さがなく、輪投げなどに似た動作で苦手意識なく導入できています。
- ・力加減や状況の把握など、療育現場での能力向上に適しているとの声が寄せられました。

📌 レク・イベントとしての活用

- ・1ゲーム10～15分で終わり、安全に多数が参加できるため、日々のレクリエーションとして最適です。
- ・「ほぼ全員が参加できるプログラムとして定着させたい」「施設内で大会を開きたい」と高い継続意欲が見られます。
- ・他施設との交流や、祝日・公園遊びでの活用など、活用の幅が広がっています。

⚙️ ルールと空間の調整

- ・50点超過で半減する公式ルールの方が白熱した。また、時間を見て高得点のチームを勝利とするなど臨機応変に進行。

- ・視覚や聴覚に障害がある方にはスタッフが都度補足説明を実施。大人と一緒にプレイするなどのサポートも行った。

- ・広い空間を確保し、転倒リスクや移動距離を減らすために待機用の椅子を近くに配置した。

♿️ 身体状況に合わせた配慮

- ・肩が痛い方には投擲距離を短くする等、ルールを柔軟に変更。ダンボールなどの補助具も活用した。

- ・移動に時間が掛かるためモルッカーリは設けず、モルックを囲むように利用者の位置を調整しその場で投げていただいた。

- ・状況に合わせた様々な工夫により、ほとんどの方が真剣勝負を楽しんでおられた。

- ・初めて実施するに当たって、実際にチームで行っている様子があればイメージしやすい
- ・得点のルール改変や投げる距離を近くからレベルに合わせて徐々に話していく方法等、参考になった
- ・投球者の目線で見える動画があると狙い方が分かるかなと思った
- ・スコア表の書き方が分からない
- ・決まったルールでやらないといけないと思っていましたが、独自に変更しても良いことを知り無理なく楽しむことが出来た
- ・モルッカーリをテープで代用。本当はこうですがこうしてもいいですよ、という書き方がわかりやすかった
- ・投げるときの体勢や、投げ方のコツをもっと詳しく知りたい

・以前棒を加工してモルックセットを自作したことがあり、施設スタッフや利用者様にはモルックのことは知ってもらっていましたが、今回モルックセットを頂いたことを皆に報告したところ、スタッフは大喜び、利用者様も「今日やるん？早くやろうや」との声がありました。実物は思ったより重く、うまくできない人もいましたが、ルールを調整することで楽しく参加していただくことができました。今後の定番レクリエーションになりそうです。

・いつか子どもたちを連れて大会にも出てみたい

・年齢、体力、体格差などがなくても楽しく取り組めていた。初めて取り組む子ばかりだったが、大人と一緒に点数を考えながらプレイできた

・屋内で傷がつかないカバー的なものが欲しい

・モルックを余暇活動に取り入れたい、と思い HPを見て応募した。今回届けてもらうモルックですでにイベントを企画して参加者を募ったところ、たくさんの利用者が参加を希望されどうやってみんなでやろうか考え中。モルッカーリは自作したので、みんなで作るのが楽しみ！

・最高で99歳の方も楽しまれていました。本当にありがとうございました。

モルックを全国の福祉施設へ広げる

応募された職員の皆さんのアンテナの高さ、利用者支援への意識の高さが伺えた。今回贈呈した福祉施設からの広がりも期待できるので、引き続きモルックが様々な方に楽しんでもらえるよう普及に努める

レク・イベント・プログラム等での継続

贈呈した施設で継続してモルックを楽しんでもらうために、今回のアンケートで得られた現場の意見を参考に
にする。
今回で職員の皆さんや利用者様の余暇選択肢の一つにモルックが加わったことは大きな変化である
と考える。

福祉の側面から全国にモルックを行き渡らせる

レクチャー動画のアンケート結果から、もう少し競技に寄せた内容を盛り込むとさらに満足度が高くなると見られる。
TV等でモルックのルール自体は知っている人が多く、配慮面だけでなく上手に投げるコツ等も必要であったと感じた。

モルック大会の開催

2025年4月山形・10月大阪にてデフモルック大会を開催し好評であった。
今後は対象を広げ、視覚・精神・身体障害、高齢者、小中学生等の各大会の開催を目指します。贈呈した福祉施設へ大会参加を促すなど、単なる贈呈に留まらない交流の場を創出し、継続的な挑戦の機会を提供したいと考えています。

横の繋がりに期待

贈呈先より「両手欠損や麻痺がある場合の投擲方法」について相談を受けた。現状、装置の使用は公式ルール上の「投擲」とは異なるため、協会としての推奨には慎重な議論が必要である。ユニバーサルスポーツを掲げながらも、障害の程度により「物理的な壁」が存在することを痛感した。

しかし、現段階で最も重視すべきは、利用者が「楽しかった」「またやりたい」と感じる成功体験である。各施設でルールの調整や補助具の作成など、現場独自の創意工夫が行われていることを肯定し、今後は「うちの施設ではこうしている」という好事例を横展開するプラットフォームとしての役割も担っていきたい。

モルックを通じて「誰もが参加できる」環境を作るため、固定概念に縛られず、現場の知恵を拾い上げながら、福祉的な側面からのモルックのあり方を模索し続けたい。



日本モルック協会
Japan Molkky Association

Smile with You

誰もが笑顔になれる。それがモルックです。
沢山の応募ありがとうございました。

